

九州ネットワーク

熊本火の国ラウンド

①実践発表

マット運動 伊東大輔 教諭

熊本市立出水南小学校

プレルボール 長浦卓也 教諭

熊本大学教育学部附属中学校

飲酒と健康 原辰徳 教諭

今坂道子 教諭 熊本市立花陵

中学校

フロアテニス 是住直人 教諭

熊本大学教育学部附属小学校

②グループワーク

4本の実践について、協議・意見交換

③情報提供・まとめ

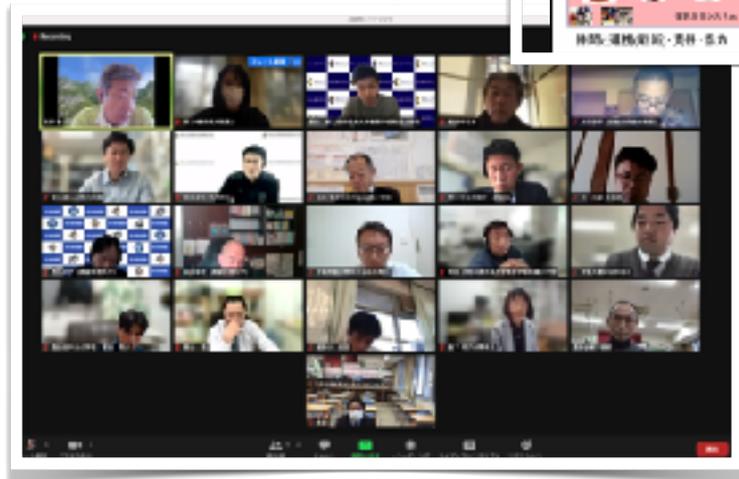
「教材を検討する視点」

桐蔭横浜大学

教授 佐藤豊氏

来年以降への引き継ぎ

ZOOMでの開催は、参加のしやすさがあると考えます。しかし通信環境が整っていないと映像や音声の乱れがあります。入念なリハーサルや開催場所の選定が大切です。また、今回は13時から開催でしたが、全然長いと感じることがなかったです。実践をもとにして伝えたいこと、みんなで協議したいことがあったからこそ、深まっていき、学べる有意義な時間になったと思う。実践された先生に感謝です。



実践をもとにした提案

火の国ラウンドでは、4本の授業をもとに提案をしていきました。それぞれの先生がもっている子どもにこうなってほしいという願いを具現化するための様々な手立てが印象的でした。また、グループワークも盛り上がりました。今回、ブレイクアウトルームを活用して、様々な校種の先生方で交流できたことで、今まで自分一人では気付けなかった視点からの協議の深まりを発表者も感じていたようです。佐藤豊先生に直接熊本にお越しいただいて講話を頂きました。4本の実践を絡めて教材、授業研究についてお話頂いたので、とても分かりやすく、そして、グループワークで我々が感じていたもやもやをスッキリさせて下さいました。運営面では、動画を活用したことで、多少音声の乱れもありましたが、生の子どもたちの姿、声を聞けたことで、参加された方々からもたくさんのご意見を頂き、「勉強できた。」「参加してよかった」などのお声も聞くことができました。来年以降も授業を中心に据えた提案を火の国ラウンドでは行っていきたいと思います。

